

平成28年度 徳島市立高等学校 学力向上実行プラン

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価	学校関係者の意見	
基礎学力の 充実と応用 力の育成	①授業日数・授業時数の確保に努める。 ②わかりやすく、魅力ある授業に努める。 ③学習習慣の定着を図る。 ④補習への積極的な参加を促す。 ⑤校内実力テストを有効に活用するとともに、希望者受験の模試の積極的な受験を促す。 ⑥読書を薦める。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
		①授業時数を800時間以上確保する。 ②(1年)「学習のかたち週間」を1・2学期の初めに実施する。 (2,3年)「学習のかたち週間」を1学期の初めに実施する。 ②授業満足度70%以上を目指す。 ②校内授業参観週間を1・2学期に 1回ずつ設定する。 ③家庭学習時間調査を定期考査前に実施し、3時間以上学習する生徒の割合を増やし、40%以上を目標とする。 ③毎月の学習計画表と長期休暇中の学習計画表を配布し、定期的集めてコメントを記し、学習がうまくいっていない生徒に対しては、面談の中で助言や指導をして学習習慣の改善を図る。 ③自習室の活用を積極的に促し、利用者延べ人数1万5千人を目指す。 ④(1,2年)全員参加補習の皆勤者数 100人以上を目指す。 ④(3年)受講講座への出席率90%以上を目指す。 ⑤希望者受験模試の受験者数(延べ人数)は次の人数を目標とする。 (1,2年) 840人以上 (3年) 1700人以上 ⑥(1年)夏休みの読書の宿題を全員提出する。 ⑥図書館便りを年7回発行する。	①行事を精選し、授業カットや短縮はなるべく避け、振り替え授業を徹底する。 ①45分の授業に集中するため、チャイムとともに授業を	①行事を精選し、授業カットや短縮はなるべく避け、振り替え授業を徹底する。 ①45分の授業に集中するため、チャイムとともに授業を	

		<p>始める。</p> <p>②学期の最初の1週間で「学習のかたち週間」とし、全教科科目で実施する。予習・復習・ノートのとり方・授業に臨む態度など望ましい学習習慣の定着に努める。</p> <p>②教科会議で話し合い、授業方法の改善に努める。生徒による授業評価を行う。</p> <p>②校内授業参観週間では授業参観カードを有効に利用し、教師相互の授業改善に努める。</p>				
		<p>③週間課題・日々の課題で学習の習慣化を図る。</p> <p>③家庭学習時間調査の期間を学習強化週間として学習習慣の定着を促進する。</p> <p>③集会・面談等において家庭学習時間の確保と重要性を指導し、学習記録に記すことで学習計画を立てる習慣をつける。</p> <p>③生徒が集中して学習に取り組める環境を確保する。</p>				
		<p>④担任による生徒への出席の督促と保護者の協力により欠席者を減らす。</p> <p>④(3年)担任指導により欠席者への受講を促す。</p>				
		<p>⑤実力テストごとに出题検討委員会を開く。</p> <p>⑤各模試の目的・意義を伝える。</p> <p>⑤成績の分析を今後の学習指導に役立てる。</p>				
		<p>⑥夏休みの宿題として、以下のものを提出させることで正確に読みの確に表現する力を向上させる。。 (1年夏休み) 読書感想文・世界史レポート</p> <p>⑥図書館便りで新着図書や推薦図書の案内を行うとともに、各教科からも案内を行う。</p>				

平成28年度徳島市立高等学校 学力向上推進員・検討委員

学力向上推進員	遠藤 剛史	学力向上検討委員	宮城 真人・住友 良行・鏡石 浩史・元村 俊彦・森河 丈志・平野 朋美・樽見 拓・卯坂 菜絵・大久保 征・瀧川 卓・竹崎 邦俊 田上 洋子・島田 良子・高木 佐知子
---------	-------	----------	---